

週刊 タバコの正体

一旦タバコを吸い始めるとニコチン依存症になってしまい、気がつけば喫煙歴が何十年にも及んでいる人が大勢います。そして、そんな人達はタバコのせいで何らかの病気になる確率が高く、入院や手術が必要な場合も少なくありません。

じつは、入院治療が必要となると禁煙をしなければならない事を知っているのでしょうか。下のような案内を出している病院も多く、特に全身麻酔が必要な手術を受ける場合は、禁煙が必須でそれが約束できなければ手術を行わない病院もあるようです。タバコを吸うと手術後の合併症を誘発する危険度がそれほど高いということなのです。

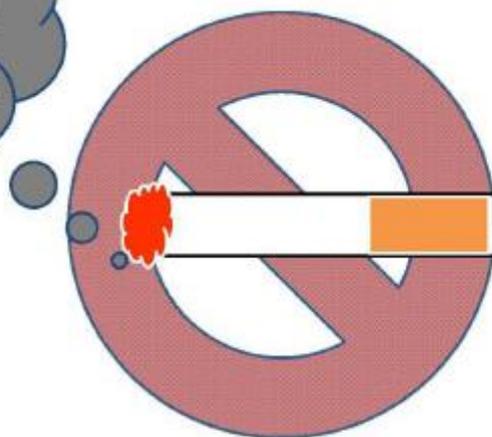
命に関わる病状であれば、禁煙することをためらう人はいないでしょうし、タバコを吸える状態ではないかもしれませんが、しかし、本人の自覚の度合いが低く、自分自身で動ける場合は入院していても喫煙している患者さんも

いるようです。

手術が決まったその日から…



しましょう！



喫煙は麻酔や手術に悪影響を与えます。

- ①傷の治りが遅くなります
- ②傷の痛みが大きくなる可能性があります
- ③麻酔後咳や痰が増えます
- ④体に酸素を取り込みにくくなります

1か月以上の禁煙が効果的ですが、短期間でも構いませんので今すぐ**禁煙**！！！！

北海道中央労災病院 麻酔科

北海道中央労災病院ホームページから

もともと、タバコを吸い始めなければ病気になる確率は低いのに、喫煙を続けたがために入院や手術が必要となり、禁煙を指示されても、なおタバコをやめられないのは気の毒です。

吸い始めないのが一番いいのですが、もし吸い始めていたとしても、病気になる前にやめておくべきだと思いますか。

産業デザイン科
奥田 恭久